

今年度も「話そう！語ろう！わが家の約束」運動を推進します
あったかい親子コミュニケーションを！



東濃地区の子育て・親育ちつうしん 家庭教育 ならう

平成30年8月発行
恵那県事務所振興防災課
家庭教育担当：奥村
〒509-7203
恵那市長島町正家後田 1067-71
TEL：0573-26-1111（内線 209）
FAX：0573-25-7129
MAIL：q02042@govt.pref.gifu.jp

家庭教育を通して、家族の絆、地域の絆を深める！

猛暑、豪雨、台風…いつ、どこで、自分や自分の家族が、災害に巻き込まれるか分からない…自分の命は自分で守らなければいけない…そう強く感じる今年の夏です。だからこそ、家庭教育を通して、家族の絆、地域の絆を深めることが、今、とても大切です。

7月、8月に開催された家庭教育学級を紹介します。在宅取組型で親子のコミュニケーションづくりを進めている取組、地域ぐるみで子育てについて学び合う取組等から、是非、よさを活用してください。

家庭教育学級の紹介



講演会型
子育てサロン型

瑞浪市PTA連合会教育講演・懇談会

日時 平成30年7月27日（金） 19:00～20:30

場所 瑞浪市総合文化センター3F 講堂

参加者 市内小中学校 PTA 会員（保護者と教職員）、青少年育成市民会議家庭教育部会員

演題 「学校・家庭・地域がつながるための考え方とひと工夫」

講師 岐阜県環境生活部環境生活政策課生涯学習企画監 石原 学 氏

地域がつながる家庭教育学級

瑞浪市 PTA 連合会教育講演・懇談会が、7月27日に開催されました。今年度は、市民会議家庭教育部会も「親世代の方々と情報交換や意見交流をしたい。」と参加され、学校・家庭・地域の連携について、熱心に意見交流が行われました。

活動の流れ

- ☆PTA 連合会 会長挨拶
- ☆講演「学校・家庭・地域がつながるための考え方とひと工夫」
 - ・保護者が抱える問題は、「社会原因で苦しんでいる」「育児モデルがない」「保護者同士わいわいできる場がない」「保護者と子どものコミュニケーションが不足している」ことであり、家庭教育が大切。
 - ・保護者は、子ども達に幸せに生きてほしい、地域は、子ども達にふるさとの担い手になってほしいと願っている。
 - ・地域を知るとは、人を知ることである。
 - ・学校と地域がつながること。例えば、合唱指導を公民館の方が行う。朝の図書返却を保護者が行う等、活動を工夫できる。
- ☆グループ懇談会 講演の感想交流



講演会



グループ別懇談会

【このよさを学びたい！】

- ・市P連の役員の方が、研修会を運営し、役割を分担して主体的に活動していたこと。
- ・地域のいろいろな立場の方が参加し、校区が異なるメンバーでグループ編成がされていたことで、情報交流が活発にできたこと。
- ・初めに講演があり、それが問題提起となって、懇談会での感想交流の話題が広がったこと。

土岐市立妻木小学校

三行詩 あったか言葉を親子でつくってみましょう

取組期間 平成30年7月13日(金)～9月3日(月)
参加者 全校親子

学校行事とつながる家庭教育学級

土岐市立妻木小学校では、地域・家庭・学校が連携し、コミュニティスクールとして、ふるさと学習や地域行事参加型活動等の地域学校協働活動を行っています。今年度、学校行事とつながりながらPTA役員会で取り組んできた活動のまとめとして、7月から9月にかけて、『語ろう話そうわが家の約束』運動 三行詩『あったか言葉を親子でつくってみましょう』に取り組みました。



三行詩につながる活動の流れ

- 交通安全教室 平成30年5月23日開催
1・2年生の歩行指導と3年生の自転車教室にPTA役員と学級委員約30名が参加しました。子どもと一緒に道路を歩くことで、低学年の歩行は、思っていたより危ないことに気付くことができました。
- 歯みがき教室 平成30年6月28日開催
3年生親子で、歯科衛生士の方から、歯みがきについて学びました。親が膝で子どもの仕上げ磨きをする大切さを教えていただきました。
- 子どものネット安心安全教室 平成30年6月29日開催
5年生親子が参加し、スマホ・ケータイやインターネットとの関わり方を親子で一緒に考えました。
- 家庭学習の取組についての交流 平成30年6月28・29日開催
全ての学年学級懇談会で、家庭学習をテーマに子育てサロン型の家庭教育学級を実施しました。
- ファミリー読書 平成30年6月19～28日実施
学校の図書館祭りに合わせて、テレビを消し、読書の時間を家族で楽しみました。



こうした取組を通して、「三行詩『子どもから親へ、親から子へメッセージとアンサーメッセージ』を、全保護者へお願いしました。

保護者への案内の裏面に、役員自ら三行詩の例文を作成して掲載しました。

三行詩の紹介

〈子から親へ〉
お母さんがお話を読む声をきいたら、やさしい声が気持ちよくて、ねむくなってしまったよ。

〈親から子へ〉
久しぶりに君を膝の上ののせて一緒に本を読んだけど、伸びた身長で本が見づらくて、苦笑い。でもなんか幸せ。

〈子から親へ〉
宿題を見てくれてありがとう。はなまるつけてくれてうれしい。

〈親から子へ〉
お兄ちゃんもお姉ちゃんもいない2人の時間。宿題もお話もできて、貴重な楽しい時間だね。

三行詩・あったか言葉を親子でつくってみましょう

本年度PTA保健母親部会では、岐阜県が進めている「語ろう話そうわが家の約束」運動の一環として、家庭学習の充実「ファミリー読書」親子歯磨き教室(3年)「インターネット安心安全親子講座(5年)」「学級懇談会でのわが家の家庭学習の交流会(中ロ型)」を学校と協力して行ってきました。こうした取組を通して、本年度のPTAテーマ「はぐくむ親子の絆」を学校と協力して「わが家の約束」を今年度のPTAテーマ「はぐくむ親子の絆」を学校と協力して行ってきました。親子で約束を作ったことについて、「子どもから親へ、親から子へメッセージとアンサーメッセージ」を書いて欲しいと思っています。つきましては、PTA保健母親部会でも参考例を考えてみましたので、ご参考下さい。(私たちも考えました。裏面をみて下さい。)今年度は、PTA会員の方の参加をお待ちしていますので、1次募集と2次募集を行います。1学期の様子を見て書いて下さる場合と、夏休みにおわが家の約束を継続していただく2つのバージョンです。是非ご協力下さい。

(1)子から親へのメッセージ、親から子へのアンサーメッセージを書き、互いに思いを伝えてください。

親子記入

子から親へのメッセージ

親から子へのメッセージ

(2)親子で交わった「あったか言葉」

親子で交わった「あったか言葉」

親子で交わった「あったか言葉」

親子で交わった「あったか言葉」

親子で交わった「あったか言葉」

親子で交わった「あったか言葉」

親子で交わった「あったか言葉」

親子で交わった「あったか言葉」

親子で交わった「あったか言葉」

親子で交わった「あったか言葉」

親子で交わった「あったか言葉」

親子で交わった「あったか言葉」

親子で交わった「あったか言葉」

親子で交わった「あったか言葉」

親子で交わった「あったか言葉」

親子で交わった「あったか言葉」

親子で交わった「あったか言葉」

親子で交わった「あったか言葉」

親子で交わった「あったか言葉」

親子で交わった「あったか言葉」

親子で交わった「あったか言葉」

親子で交わった「あったか言葉」

親子で交わった「あったか言葉」

親子で交わった「あったか言葉」

【このよさを学びたい!】

- 役員が中心となり保護者と共に取り組む学校行事になっている。親子で活動する中で、学校で見せる子どもの姿からよりよい子育てを学び合っていること。
- 取り組んできたPTA活動を、県が進めている「話そう語ろうわが家の約束」運動につなげて、「三行詩」を作ることを全保護者に呼びかけ、親子のあたたかい言葉を広げていること。
- PTA保健母親部会の役員同士が協力し、各取組を役割分担して主体的に活動をしていること。

講演会型
体験活動参加型

恵那市立串原小中学校 市民三学荒馬座講演会 「未来は祭りの輪の中に」

日時 平成30年8月5日(日) 13:00~16:00
場所 串原コミュニティーセンター
主催 市民三学串原委員会 串原小中学校 PTA
参加者 地域の方、保護者、園児・小中学生

地域ぐるみで伝統文化を学ぶ家庭教育学級

恵那市民三学(恵那市出身の儒学者 佐藤一斎の説く少壮者と生涯学び続けること)串原委員会と串原小中PTAの主催で、荒馬座講演会が開催されました。2011年、串原の中山神社に伝わる中山太鼓と荒馬座の和太鼓が出会い、それから交流が続いています。ワークショップでは年齢に関係なく地域の方が積極的に参加され、子どもから大人まで伝統文化を体験し学びました。

活動の流れ

- ☆荒馬座座員の方による講演会
 - ・荒馬座の歴史と中山太鼓との出会いについて
- ☆和太鼓の演奏と和太鼓ワークショップ



和太鼓ワークショップ



最後は一つの輪に



【このよさを学びたい!】

- ・和太鼓が地域に根付いている串原地区。年齢に関係なくワークショップに参加し、ステージで大人も子どもも一緒になって踊り太鼓を叩く。そんな地域の中で伝統を受け継ぎ大切に育つ子ども達。太鼓が心をつないでいたこと。
- ・参加している園児、小中学生、保護者、PTA役員、地域の方全員が、主体的に動き大変意欲的であったこと。

土岐市立肥田小学校『親子で作ろうMy食器』

日時 平成30年8月26日(日) 10:00~12:00
場所 肥田ライフパーク
参加者 親子、母親委員
講師 (株)ヤマ吾陶器



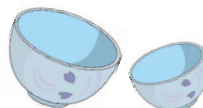
体験活動参加型
子育てサロン型

体験を通して地域の産業を学ぶ家庭教育学級

昨年度まで開催していた親子クッキングを変更し、今年度は男の子も女の子も親子で参加しやすいよう、親子陶器転写貼り体験を開催しました。肥田町で陶器商を営まれるヤマ吾陶器の方と母親委員の「地元の産業を少しでも子ども達に受け継いでもらいたい」という願いから実現しました。70名の親子が参加し、ヤマ吾陶器の5名の方の指導の下、楽しく取り組みました。

活動の流れ

- ☆母親委員担当者の挨拶と説明
- ☆ヤマ吾陶器の方の挨拶と説明
- ☆グループで交流しながら転写貼り体験



【このよさを学びたい!】

- ・地元の産業である陶器作り体験を通して、子ども達が陶器作りに興味を持ち、将来受け継いでいってほしいという願いがあること。
- ・グループで取り組むことで、親同士、子ども同士の交流ができること。
- ・焼きあがった食器を通して、家庭での親子の会話が広がること。

やり方を真剣に学ぶ子ども達



グループになって制作



岐阜県では 企業内家庭教育研修 を推進しています

岐阜県では、家庭教育力の向上と地域社会全体での子育ての推進を目的に、企業・事務所と連携しながら、子育て中の親だけでなく、これから親になる従業員、子育てが一段落した従業員、管理職等、幅広い層への家庭教育研修会を開催しています。



企業内家庭教育研修は、「出前講座」として開催し、働く皆様のよりよい家庭づくりのお手伝いをします！

対象は？

従業員の方などが対象です。少人数でも開催できます。ご希望があれば、そのご家族の方なども可能です。

時間は？

おおむね1時間程度を想定していますが、ご相談に応じます。朝礼、休憩時、就業後などの時間帯も可能です。

講師は？

内容に合わせて県職員、教職員を講師として派遣します。講師料は基本的には無料です。

内容は？

プログラムの具体的な内容は、ご相談に応じます。対象の方へアンケートを行い、ニーズに合ったテーマを設定させていただくこともできます。

テーマの例

- 子育ての秘訣
- 子どもの心をつかむコミュニケーション術
- 父親、母親の役割
- 仕事と子育て両立のコツ
- 家族の絆
- 子どもの心と体の健康

開催にあたってお願いしたいこと

- 会場となる一室をお貸しください。
- 従業員の方などに参加の呼びかけをお願いします。
- 研修開催の様子をHPやチラシなどで紹介させてください。
- 報道関係者へ当日の取材依頼を行いますのでご了承ください。
- 終了後、参加者の皆様には簡単なアンケートのご協力をお願いします。



大垣共立銀行企業内家庭教育研修会が開催されます

日時 平成30年9月6日（木）17:30～18:00
会場 大垣共立銀行恵那支店
テーマ 「 家族の絆 ～伝えようあなたの思いを～」
講師 恵那県事務所 振興防災課 振興防災係 長瀬 教行
 家庭教育推進専門職 奥村 多美子

